



濁川中だより

〒950-3134

新潟市北区新崎 5437 番地

Tel 025-259-2150

<https://blog.city-niigata.ed.jp/nigorikawa/>

史上最高な体育祭への挑戦

生徒の活躍が光る体育祭でした

開会の言葉

「煌星(きらぼし)」～軍の仲間と繋がり、軍を超えて繋がり、史上最高な体育祭の創造へと挑戦する姿～このスローガンのもと、準備を含め、今年度の体育祭は7月から始まりました。

「史上最高な体育祭の創造へと挑戦する姿」を目指し、生徒自らがいろいろな場面で企画運営を

しています。今年は男女種目を復活させました。それを生活委員会、環境福祉委員会の両委員会が協力して運営しています。また学年種目も昨年に引き続き代議委員会が企画運営しています。昨年以上に学年ごとのカラーが光る種目になっています。

このように生徒が輝く体育祭を作りあげてきました。

生徒の皆さん!準備は整いました!皆さんが主役として輝く体育祭です!これまで蓄えてきた力を発揮し、仲間を信じ、今日、この1日を存分に楽しみ、そして輝きましょう!「煌星」



キラリ☆輝いた瞬間☆ 目指す姿は「生徒が主体の体育祭」

種目決定、競技運営、準備。生徒が考えながら行いました。教職員は伴走者に徹しました。





生徒の活動の様子を、ホームページに写真とともに掲載しています。ぜひご覧ください。



赤軍のパネルは、赤軍の目指す姿「ライオンのように気高く、芯のある集団となり、百獣の王になる」を意識し、迫力のあるパネルに仕上げました。軍の漢字「激」に合うように、激しく戦い合うライオンをイメージしました。後ろにある光は、ぶつかり合って戦いをさらに激しくきわだたせるように描きました。



青軍のパネルは、青軍の目指す姿「くじらのように団結して勝利をつかむ」の中にあるくじらをモチーフに制作しました。波と共に勢いよくくじらを動かすことで、迫力が出るように工夫しました。軍の漢字「威」にも勢いをつけることで全体に統一感が出るように仕上げました。

体育祭を振り返って 生徒は体育祭で何を学んだのか

体育祭の満足度は 91%

- ・ 軍の人たちと協力して頑張ることができたから。 ・ 競技や応援を全力ですることができたから
- ・ みんなで団結して、がんばって、最高の思い出にできたから。



学んだこと、成長できたこと

- ・ みんなで達成する楽しさ達成感を学べた。 ・ 自分たちが主体となって準備をすることができた。
- ・ コミュニケーション能力が上がった。 ・ 自分の役割を全うする大切さを学んだ。
- ・ 学年関係なく生徒全員で体育祭を創ることができた。 ・ 1,2年生の頃には知らなかった3年生の苦勞。
- ・ 応援リーダーに頼れない状況だったから、自分で考えて行動できた。

〈1年1組〉 自分たちでやる体育祭は、準備も大体全てやるので、運動会とは違い、とても楽しかったです。先生に任せず準備をするのは、楽しかったし、成長できた気がします。



〈1年2組〉 私はこの体育祭を通して、小学校とは違う楽しさを見つけられたと思います。なぜなら、ダンスをやるのも初めての経験だったし、生徒が協力して準備を行うのも、小学校の時にはなかったからです。

〈2年1組〉 今、自分はしたらよいのかななどを考えて行動することができました。全力でやると、勝っても負けても楽しかったと思えることが分かりました。

〈2年2組〉 みんなでたくさん協力できました。早く行動できたし、話もちゃんと聞くことができました。昼休みなど、先輩に言われなくても積極的に練習することができました。

〈3年1組〉 他学年をまとめる難しさを学び、それでも粘り強く関わったことが成長できたことです。他にも、どうしたらやる気になってくれるかもたくさん考えました。周りの人と支え合ってきたので、協調性、仲間と協力する力が成長しました。



〈3年1組〉 暑い中、みんなで楽しく協力して取り組んでいて、いいと思いました。成長できたことは、どんなに辛くても、笑顔で取り組めたことです。

〈3年2組〉 学んだことは、本番前にいろんなハプニングがあっても、本番はうまくいくことや、3年生の苦勞です。この体育祭で、協力することの大切さや生徒会などのありがたみを知ることができました。



